

# 道しるべ

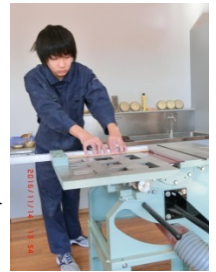
地域の一員として、一人一人が輝き、進んで社会参加できる児童生徒の育成

## 中学部後期校内実習

11月7日から18日まで、後期校内実習が行われました。各工房の作業内容や、成果と課題について紹介します。

### 【木の工房】

今回は「働くために必要な力をレベルアップする」「自分の技をみがく」という2つの大きな目標を立てました。大きな目標を基に、自分が頑張ることをより具体的に目標を立てました。「時間を守る」「疲れたと言わない」など基本的ですが大切なことを一人一人が目標にしました。技術面ではのこぎりや電動彫刻刀、ラインストーンの飾り付けなど、道具の扱いや細かい作業を安全に正確に行う学習を繰り返しました。(海道)



### 【土の工房】

前期は、後半疲れて集中力がなくなってしまったことから、後期は最後まで「集中」、「丁寧に」、「元気に」を合い言葉に、そして『自分から挨拶する、「です」、「ます」をつけて話す』を目標にしました。学園祭でたくさんの方に製品を購入していただいたことが励みになり、『買ってくださる方に喜んでほしい』という気持ちが技術面にも表れ、今まで以上に丁寧に、そして最終日まで夢中になって取り組み、目標数を完成させました。丁寧な言葉遣いは今後も普段から心掛けていくよう確認しました。(篠田)



### 【紙の工房】

あいさつ、返事などをいつも以上に「自分から行う」ことに心がけた2週間でした。言葉遣いに関しては、今後も気をつけたいと何人かの生徒が振り返りをしました。また、それぞれが作業時間や毎時の目標数を少しずつ増やし、時間も意識して行動しました。より集中して細かい作業が求められた新製品の付箋づくりなど、工房のみんなで目標数の作業製品を完成させることができました。(大塚)



### 【風の工房】

前期実習の反省を基に、「自分の仕事を覚え、最後まで集中」「相手の目を見て、元よくあいさつ、返事、報告」「時間を守る」の3つを全体目標にして取り組みました。

10月から工程が変わった生徒もいましたが、よく仕事を覚え、一人一人が進んで作業に取り組む姿が見られました。また、リーダーを中心に声を掛け合って行動するなど「よりよく働く」ことを意識できた2週間になりました。(安田)



## ～保護者施設見学会～

今年度、中学部では計3回（小又の里、すまいる、南秋つくし苑、飯田川つくし苑の4施設）の施設見学会を実施しました。実際に社会人として働いている利用者の方々の様子を間近で見学したり、施設の職員の方々から「よりよく」働くための大切なお話をうかがったりすることができ、子どもたちの将来を考える上で貴重な機会になりました。



将来を見据え、「今できること」、「今やらなければいけないこと」に確実に取り組み、学校・家庭等との連携のもと「できることはより確実に」、また、たくさんの「できる」が積み重なっていかねばいけないことを改めて感じました。

見学会実施にあたり、お忙しい中、お車や謝礼等の準備に協力いただきありがとうございました。（安田）

## コラム ちょっとお耳に！③

### ～「自立」って何？～



いろんな場面で、「社会参加」とか「自立」とか耳にしませんか？特に、特別支援学校では、目標に掲げていることが多いです。

ところで、この「自立」ですが、どんな意味か調べてみました。ある辞書によると「自立とは、他の人に頼らないで、自分の力で行動し、生活すること」とあります。しかし、これって本当でしょうか？

高齢者でも、働き盛りでも、子供でも、障害者であっても、「他の人に頼らないで生きていく」ことは不可能です。正義の味方のアンパンマンでさえも、水に濡れてしまうとジャムおじさんに支援を求めたり、助けてもらったりします。

自立とは、「必要な支援を受けながら、自分のもてる力を精一杯発揮して生きること」であり、そのためにも「支援を求める力」が必要になってくるのではないのでしょうか？（小川）

